

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策1-4-2 経営安定化の支援
---------	------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	中小企業課長 野坂 一弥	電話番号	0852-22-5881
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	中小企業団体中央会活動支援事業		
目的	(1) 対象	事業協同組合等	
	(2) 意図	経営の安定・改善と事業の発展を図る。	
事業概要	・事業協同組合等に対して指導監督や経営指導等を行うため、中小企業団体に対して補助金を交付する。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	組合等の年間巡回相談対応件数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		2,650	2,700	2,750	2,800	
式・定義	指導員が組合等を訪問して相談対応した件数		実績値	2,691	2,831	2,452	2,215		件
			達成率		106.80	90.80	80.60		%
指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位		
								目標値	0.00
式・定義									
									実績値
									%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	107,039	110,289
うち一般財源 (千円)	107,039	110,289

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

○県全体の組合数が減少し、支援対象が縮小している

- 中央会会員数 H25年度末341→H26年度末334
 - 加入 6
 - 脱退 13（解散が多数を占める）
- 組合全巡回 333組合
- 巡回相談対応件数 4357件

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- 経営計画策定事業所数 88件
- 経営革新計画認定事業所数 2件
- 地域資源事業化件数 4件

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- 組合の減少
 - ・設立件数の減少
 - ・解散件数が依然として多い

②困っている状況が発生している「原因」

- メリットが活かせない
 - ・事業協同組合等は、交流又は連携及び共同化の推進を通じて、資金調達の日円滑化や人材育成等に大きな役割を果たしてきたが、昨今の経済情勢の下では、そのメリットが活かしにくくなっている。
 - 組合構成員の減少

③原因を解消するための「課題」

- 組合加入のインセンティブを効果的に説明することが必要
 - ・指導員の経験や指導ノウハウ不足から、充分な対応ができない場合も考えられる。
- 組合を構成する中小企業への支援が必要

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- 各組合に適した共同事業の再構築、新たな事業展開、新分野進出やITの活用等について、更なる支援・指導をしていく
- 経営指導員研修への参加、アドバイザーへの同行等により指導員の資質向上を図っていく
- また、引き続き、組合を構成する中小企業への支援も行っていく。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）

--